

中央公民館：0869-22-3761
長船町公民館：0869-26-2501
牛窓町公民館：0869-34-5663

おすすの本
今月の



上方伝統芸能 あんない
堀口初音・著 創元社・出版社
難しい、とつきにくいといわれる伝統芸能。そもそも「江古」と「上方」でどんな違いがあるの？「歌舞伎」や「能」など8つの芸能の魅力、観覧までの手順や客席での心得など劇場に足を運んでみたくなる情報満載の1冊。

今月の月末図書整理日（お休み）は、**1月31日（火）**です。
■貸出し・問い合わせ先
瀬戸内市立図書館 ☎0869-22-3761
長船町公民館図書室 ☎0869-26-2501
牛窓町公民館図書室 ☎0869-34-5663
HP <http://lib.city.setouchi.lg.jp/>

市民セミナー（後期）

本年度開講した公民館講座「市民セミナー」では、時事問題、文化などについてわかりやすく説明します。

2月には、後期日程として就実大学・就実短期大学と連携した講座を開催します。

コミュニケーションや地球環境問題など、身近な題材を取り上げ、その分野を研究している先生を講師に招きます。専門的な内容を分かりやすく解説しますので、納得と新たな発見の連続です。皆さんの参加をお待ちしています。

なお、開催日時と内容は下表のとおりです。

▽場所 中央公民館
▽対象 市内在住・在勤者

市民セミナー後期日程

	開催日時	内容
第1回	平成24年2月7日（火） 午前9時30分～午前11時	実践コミュニケーション学科 芳賀修教授 「地理的なもの見方について」
第2回	平成24年2月14日（火） 午前10時～午前11時30分	表現文化学科 岡部由文教授 「古典のコミュニケーション～男と女～」
第3回	平成24年2月21日（火） 午前10時～午前11時30分	生活実践科学科 真鍋恵美教授 「くらしと地球環境問題」

▽定員 40人（先着順）
▽参加費 300円（年間登録料）
※すでに市民セミナーを受講した人は、参加費は必要ありません。

▽申込期限 平成24年2月2日（木）

■問い合わせ・申込先 中央公民館

百人一首に挑戦 わくわくチャレンジ

1月のわくわくチャレンジでは、小倉百人一首を楽しみます。初めて百人一首にふれる人でも十分に楽しめるいろいろな遊び方を紹介します。百人一首を楽しんだ後は、みんなで雑煮を食べます。お誘い合わせの上でご参加ください。

▽日時 平成24年1月14日（土）
午前10時～午後0時30分

▽場所 長船町公民館
▽講師 水田正子さん

▽参加費 無料
▽申込期限 平成24年1月10日

日（火）

■問い合わせ・申込先 長船町公民館

参加しませんか スポーツ吹矢体験会

スポーツ吹矢の体験会を開催します。スポーツ吹矢は、5～10分先の的に吹矢を吹いて、得点を競うスポーツで、腹式呼吸と胸式呼吸の両方をうい健康増進に効果があるといわれています。申込は不要。お気軽にご参加ください。

▽日時 平成24年1月11日（水）、18日（水）、25日（水）
午前10時～正午

▽場所 中央公民館
▽参加費 無料

■問い合わせ先 秋山昌男さん
☎090-8719-8155

Books



地球をほる 川端誠…作 B.L.出版社…出版社

丸い地球。日本の裏側にも国がある。では、地面をほったら、外国に行けるのかな？ けんたたち3人はアメリカを目指して地面をほる。ほる。ほる。そして…。気が付けば、本の向きも変わっている絵本です。



巻の八十四

いま宇喜多アツい！

砥石城と宇喜多氏 その一

最近、岡山城で「宇喜多秀家☆フェス」や「宇喜多三代秘話展」が開催されるなど、岡山が生んだ戦国大名である宇喜多氏の人気が上がってきています。

市でも、平成23年10月22日に瀬戸内市文化祭において（財）岡山県郷土文化財団理事長の柴田一氏による「宇喜多秀家と八丈島」と題した講演会を開催したところ、市民の皆さんを中心に約500人の参加がありました。

城跡（邑久町豊原）の散策を実施したところ、約1500人の参加がありました。

宇喜多直家生誕の地 砥石城は、岡山城をつくった宇喜多直家が生まれた城と伝えられています。

『備前軍記』によると、直家の祖父である宇喜多能家が、大永3（1523）年ごろから砥石城で隠居生活を送っていたところ、天文3（1534）年、島村豊後守に急襲されて自害し、直家と直家の父・興家は逃げのびた

といえます。直家は当時6歳であったと伝えられています。

『備前軍記』は、能家が居城していた時代からすれば200年以上後につくられた書物で、砥石城に関する記述については根拠の不明な部分も多いのですが、ともかく直家は、どん底の境遇からのちに備前国を統一する戦国大名に成長しました。砥石城はその舞台であったと伝えられているのです。

宇喜多氏と大賀島寺

直家の息子・秀家は、天下統一を果たした豊臣秀吉にかわいがられ、五大老の一人となりました。しかし、慶長5

（1600）年の関ヶ原合戦のときに、秀家は豊臣家への忠義から、西軍につき、徳川家康率いる東軍に敗れ、最終的に八丈島へ流されました。

ここに宇喜多氏は歴史の表舞台から退くことになりました。だが、砥石城の東の山上に位置する大賀島寺（邑久町豊原）には、直家の甥である宇喜多基家（与太郎）が着用したという甲冑（県指定重要文化財）が伝わっています。

また、宇喜多一族の円蔵坊亮諦という僧が大賀島寺の住職となつて宇喜多氏の菩提を弔っていたといわれています。直家の甥で感応院という僧

が大賀島寺に入ったとする系図も伝わっています。



伝宇喜多基家所用甲冑

【宇喜多氏略系図】（※諸説あるうちのひとつ）

